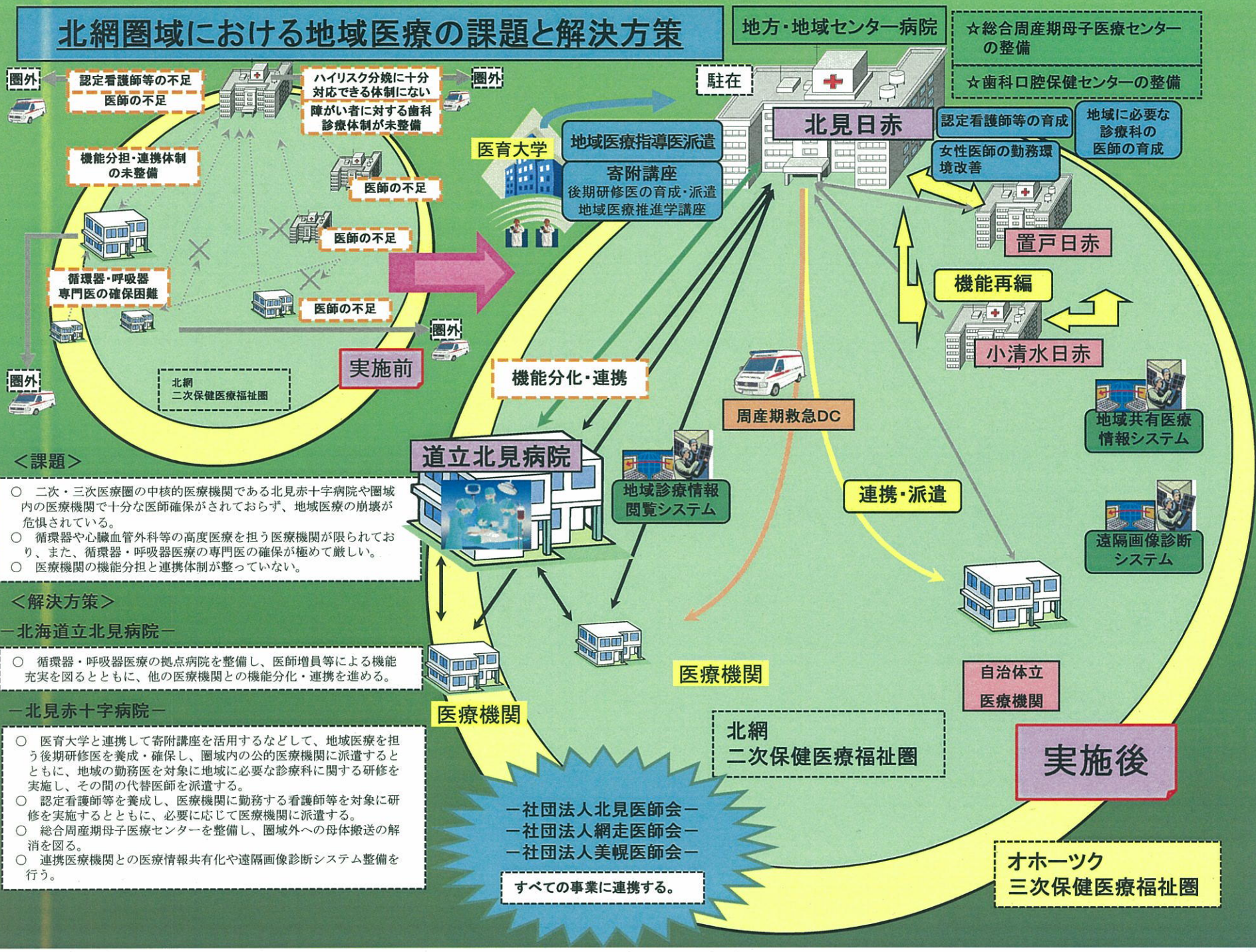


# 北網圏域における地域医療の課題と解決方策



- <課題>**
- 二次・三次医療圏の中核的医療機関である北見赤十字病院や圏域内の医療機関で十分な医師確保がされておらず、地域医療の崩壊が危惧されている。
  - 循環器や心臓血管外科等の高度医療を担う医療機関が限られており、また、循環器・呼吸器医療の専門医の確保が極めて厳しい。
  - 医療機関の機能分担と連携体制が整っていない。

- <解決方策>**
- 北海道立北見病院—
- 循環器・呼吸器医療の拠点病院を整備し、医師増員等による機能充実を図るとともに、他の医療機関との機能分化・連携を進める。
- 北見赤十字病院—
- 医育大学と連携して寄附講座を活用するなどして、地域医療を担う後期研修医を養成・確保し、圏域内の公的医療機関に派遣するとともに、地域の勤務医を対象に地域に必要な診療科に関する研修を実施し、その間の代替医師を派遣する。
  - 認定看護師等を養成し、医療機関に勤務する看護師等を対象に研修を実施するとともに、必要に応じて医療機関に派遣する。
  - 総合周産期母子医療センターを整備し、圏域外への母体搬送の解消を図る。
  - 連携医療機関との医療情報共有化や遠隔画像診断システム整備を行う。

—社団法人北見医師会—  
 —社団法人網走医師会—  
 —社団法人美幌医師会—  
 すべての事業に連携する。

オホーツク  
 三次保健医療福祉圏

